

空き家活用者の相談対応を！



今年4月から、根羽村の空き家相談窓口として動いています。空き家に関する相談は7件ありました。内訳は所有者関係の相談が5件と、空き家を活用したい人からの相談が2件です。内5件は実際に直接会って、情報提供の時間を設け、これらをデータとして管理すると共に案内等を行いました。移住を考えている人は少しずつですが増えている印象です。空き家を利用したいと考えている人への相談対応内容としては、空き家所有者さんと連絡を取り、実際に利用者と気になる物件へ一緒に同行し、物件の紹介を行いました。簡単に言うと不動産仲介のようなものですが、実際、私は不動産屋ではないので、お互いの顔が見える状態で、あくまで紹介や案内を、両者に柔軟に、村内の皆様の意見も大いに踏まえて、今後も行っていきたいと思っています。

空き家のすすめ

空き家相談窓口の話

空き家を開ける（旧・若松旅館）

「空き家を開けるプロジェクト」が少しずつ動き始めています。実際に私が空き家を活用する第一号物件として、下町地区のご理解を得た、153号泊にある「旧・若松旅館」の活用を計画しています。8月は、道路に面している外側部分（扉）と中側の掃除や草刈りなどを行いました。作業では、下町地区の方をはじめ、声がけや協力をいただいた方のおかげで、土汚れがついていた扉はとても綺麗になりました。ありがとうございました。中を見ていると、計画構想がどんどん浮かんで来ます。ただ使えない部分も明らかにあります。最低限の工事をまずは行い、空き家相談窓口の拠点として機能をさせたいと考えています。①情報の発信②拠点づくり③イベント企画を軸に、建物を動かしていければ良いと思います。今後は、建物の現状を専門の方に一度見ていただき、必要な修繕や改修についてを判断していただく予定です。一緒に活用を考えたり、DIYや改修に協力してくださる方も募集しています。



Vol.4

2023.09.01

個人アカウントを開設！

コラム的な

若松旅館の計画とは別に、実際に空き家に住みたいということで、空き家を紹介いただき、実際に所有者さんにお会いすることができ、中も見ました！とても良かったです。ここに住めたら最高だなと思いました。こちらは焦らず、ゆっくりと進められればと思います。このような活動を行っている中で、どうせなら発信したいと思っていたところで、やっとアカウントを作りました。完全に個人軸で、趣味のようなものですが日々起っている出来事を面白コンテンツとして発信します！良かったら覗いてみてください。

Instagram
個人アカウント

QRを読み込むと
閲覧・フォローできます



@shirane_takumi

【編集後記】

白根拓実 しらねたくみ

2000年3月22日（23才）

地域おこし協力隊 空き家対策

埼玉県熊谷市出身。根羽村で初めての夏を過ごしましたが、根羽村に夏あった？

と思えるくらいの涼しさ！ネバに来る前は

ずっと熊谷（日本一暑いまち）今はどうだろう

にいたため、過ごしやすさ・川のアク

ティビどこを切り取っても最高でした。

